

# 子どもの医療費

# 病院窓口での“支払不要”を、知事に強く求めましょう！



- 全国では、36 都府県は窓口無料です。  
3 道県は 80%以上の市町村で窓口無料です。  
7 県は自動償還制度です。  
(窓口支払いはあるが、後で全額償還されます)
- 石川県だけが、窓口で支払った後に、医療費の償還請求書を役場に出して、3 ヶ月後に返してもらうしくみです。  
しかも市町が独自に窓口無料にしようとする、県は、“2 歳児まで助成している県からの医療費助成を「打ち切るぞ」と圧力をかけます。こんな異常な対応に、県議会では、「窓口無料化を求める請願」が 4 回も採択されています (もちろん自民党も賛成して)。

切実な願い実現に、小島昌治はがんばります

## 県内初

### 輪島市は 11 月から 独自に窓口無料化実施へ

輪島市では、9 月議会に条例改正案を出し、11 月から「中学生までの医療費を病院窓口無料 (支払いなし) にします。11 月から来年 3 月までの追加補正予算は 1, 178 万円です。

◆宝達志水町で独自に実施するには、年間 1500 万円ほど必要です。(小島昌治議員が試算)

子どもが急に熱を出しても、手元にお金がなかったらがまんしてしまうんです。子どもに「ごめんね」と謝っています。保険証持つだけで病院に行けたら安心です (30 代女性)

## 循環バス

### 買い物や病院に行きやすいものに改善を

いま“買い物難民”“通院難民”が増えています。小島昌治議員は、●町内の病院・クリニックに行きやすいようにする対策、●羽咋市やかほく市の病院やスーパーにも行けるように、かほく市・羽咋市と相談して、循環バス同士の乗り継ぎを可能にする---ことを提案します。

## 介護対策

### 国が「要支援」認定者への「介護」打ち切り---来年 4 月から 町独自の対策早急に

(事例) 現在、「要支援 1」の女性。

腰が曲がって歩行器で歩いている。そのため、風呂には一人で入れないので、訪問介護で入浴。同居する息子に生活能力がなく、訪問介護がないと不衛生な環境と栄養低下などによる健康悪化が心配される。

「要支援者」向けの、①ヘルパーによる「訪問介護」、②デイサービスなどの「通所介護」の 2 つが 4 月から「廃止」され、今後の対応策は市町村に“丸投げ”されました。政府のやり方は許せませんが、「要支援者」へのサービス切り捨ては命にかかわる大問題です。町の対策が急がれます

### 町議選目前にして議員定数 2 名削減---小島議員は「反対！」

議員数の削減は、町民の声・願い届ける窓口を狭めることになりす

新人が出にくい状況を作ったうえで、「(報酬引き上げは若者に) 町議という仕事に魅力や意欲を持ってもらうこと…」(議会改革特別委員長のコメント) と、若者に立候補を求めているかのように言うのは、苦しいいわげにしか聞こえません。

議員 2 人分の報酬 約 736 万円を、残る 12 人で山分けですか？(議員報酬 月 35,000 円増額)



農業短大跡地の管理についての申し入れ。中央が小島昌治議員・右横は佐藤正幸県議 (5/22)